



K.Ishida

ジャパン・オータムインターナショナル

THE CHAMPIONS CUP

第25回 チャンピオンズカップ (GI)

1着 2着 3着 4着 5着
 本賞120,000,000円 48,000,000円 30,000,000円 18,000,000円 12,000,000円
 付加賞 3,444,000円 984,000円 492,000円



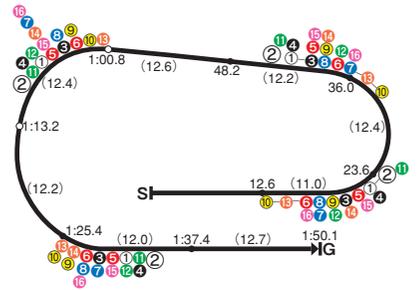
レース映像は
 コチラでご覧
 いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬
 負担重量 3歳56^{kg}、4歳以上58^{kg}、牝馬2^{kg}減

2024.12.1 中京 晴・良 ダ1800^m (国際 種別)

順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	上り (600 ^m) (増減)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	②	レモンポップ	牡	6	58	坂井瑠星	1:50.1	2-1-1-1	36.9	516(+2)	2.2①	田中博康(美浦)	118
2	⑧	ウィルソンテソーロ	牡	5	58	川田将雅	ハナ	11-8-11-10	36.2	482(-4)	5.5②	小手川準(美浦)	117
3	③	ドラエレーデ	牡	4	58	R.M-ア	1½	13-11-13-10	36.4	512(-6)	42.6⑨	池添 学(栗東)	114
4	③	ハギノアレグリアス	牡	7	58	岩田望来	¾	7-5-11-8	36.7	498(+2)	15.3⑥	四位洋文(栗東)	113
5	④	ベプチドナイル	牡	6	58	藤岡佑介	ハナ	3-3-2-2	37.1	534(+4)	6.8③	武 英智(栗東)	113
6	⑩	サンライズジバング	牡	3	56	武 豊	½	9-11-4-4	37.1	520(+8)	7.4④	音無秀孝(栗東)	112
7	⑩	アーテルラストレア	牝	5	56	菱田裕二	クビ	16-16-15-15	36.3	476(+2)	82.9⑩	橋口慎久(栗東)	108
8	⑤	ベイシャースト	牡	5	58	横山和生	1	5-5-6-6	37.1	500(+2)	72.7⑪	小西一男(美浦)	110
9	⑤	グロリアムンディ	牡	6	58	北村宏司	3	5-5-6-6	37.6	502(+2)	258.0⑫	大久保龍志(栗東)	106
10	①	ミトノオー	牡	4	58	松山弘平	1	1-2-2-2	38.1	514(+12)	167.5⑬	牧 光二(美浦)	104
11	①	クラウンブライド	牡	5	58	横山武史	3½	3-3-4-4	38.4	508(+4)	16.6⑦	新谷功一(栗東)	99
12	⑦	セラフィックコール	牡	4	58	C.テムロ	2	11-13-6-8	38.7	538(+0)	18.3⑧	寺島 良(栗東)	96
13	⑩	ミックファイア	牡	4	58	C.ルメル	クビ	15-15-16-15	37.9	500(-5)	60.5⑩	渡辺和雄(大井)	96
14	⑨	テーオードレフォン	牡	5	58	三浦皇成	2½	9-8-13-13	38.8	494(+2)	107.7⑪	梅田智之(栗東)	92
15	⑨	ガイアフォース	牡	5	58	長岡禎仁	5	13-13-6-10	40.0	496(+2)	13.7⑫	杉山晴紀(栗東)	84
16	④	スレイマン	牡	6	58	斎藤 新	½	7-8-6-13	40.1	548(+6)	107.1⑬	池添 学(栗東)	83

単勝②220円(1½%) 複勝②140円(1½%) ⑧180円(2½%) ⑥560円(9½%) 枠連①-④520円(1½%)
 馬連②-③840円(2½%) ワイド②-⑧390円(1½%) ②-⑥1,520円(21½%) ⑥-⑧2,200円(25½%)
 馬単②-⑧1,190円(1½%) 3連複②-⑥⑦7,410円(23½%) 3連単②-⑥⑧18,050円(39½%)



通過タイム：600^m 800^m 1000^m 上り：800^m 600^m
 36.0 - 48.2 - 1:00.8 49.3 - 36.9

アラカルト

- ・坂井瑠星騎手はレモンポップで制した23年に続くチャンピオンズC2勝目。JRA重賞は24年5勝目、通算19勝目
- ・田中博康調教師はレモンポップで制した23年に続くチャンピオンズC2勝目。JRA重賞は24年4勝目、通算10勝目
- ・Lemon Drop Kid産駒はJRA重賞通算4勝目
- ・2年連続1〜3着馬が同一着順となったのは本競走史上初
- ・6歳馬の勝利は16年サウンドトゥルーに続く通算5回目
- ・外の勝利は23年同馬に続く通算4回目
- ・非抽選馬 2頭(ブレイクフォース、ヤマニンウルス)

外レモンポップUSA *Lemon Pop*

牡 栗毛 2018.2.15生
 アメリカ Mr. & Mrs. Oliver S. Tait 生産
 馬主・ゴドルフィン 美浦・田中博康 厩舎
 馬名意味・レモンスカッシュ

Lemon Drop Kid 鹿毛 1996	Kingmambo 鹿毛 1990	Mr. Prospector
		Miesque
Unreachable 栗毛 2009	Charming Lassie 黒鹿毛 1987	Seattle Slew
		Lassie Dear
Unreachable 栗毛 2009	Giant's Causeway 栗毛 1997	Strom Cat
		Mariah's Storm
	Harpia 鹿毛 1994	Danzig
		Razyana

F2-d

5代までのインブリード: Buckpasser S4×M5 Northern Dancer M4×S5×M5
 Natalma M5×M5

INTERVIEW

ハリー・スウィーニイ 代表取締役
 (ダーレー・ジャパン株式会社)

ベストホースの一頭であると確信しています

レモンポップが長年にわたり人々に与えてきた喜びと感動は、どんなに強調してもし過ぎということにはならないでしょう。彼は日本のダート競馬史上、ベストホースの一頭であると確信しています。私たちは彼の新しいキャリアを本当に楽しみにしています。彼を購入したとき、芝にも適性があるに違いないと考えていたほどです。産駒がどの馬場を好むのか興味深いです。

H. Yamanaka



過去2回の海外遠征では結果を出せなかったものの、重賞初制覇を果たした前年の根岸S以降、国内戦では負け知らずの連勝街道を突き進んできた本馬。新年からの種牡馬入りを前に、引退レースとして臨んだこの日も絶対王者の威厳を示し、見事に有終の美を飾った。GI及びJGI6勝をマークした「スピード」には、生産界から熱い視線が注がれており、第二の馬生にも大きな期待がかかる。

父レモンドロップキッド Lemon Drop Kid

アメリカ産 北米24戦10勝(ベルモントS^{G1}、トラヴァーズS^{G1}、ホイットニーH^{G1}、ウッドワードS^{G1})、米古牡馬チャンピオン、01年から米で供用、21年引退
 (代表産駒)レモンポップUSA(本馬)、リチャーズキッド Richard's Kid(バシフィッククラシックS・米^{G1}2回、グッドウッドS・米^{G1})、ビーチパトロールUSA(アーリントンミリオン・米^{G1}、セクレタリアトS・米^{G1}、輸入種牡馬)、レモンズフォーエヴァー Lemons Forever(ケンタッキーオークス・米^{G1})、サンタレジータUSA(サンタマリアH・米^{G1}、輸入繁殖牝馬)、他に重賞勝ち馬多数

母アンリーチャブル Unreachable

アメリカ産 愛2戦0勝

ジアンバーフォート The Amber Fort(14 馴父Elusive Quality)英30戦2勝
 マンハンター Manhunter(15 馴父Elusive Quality)首、英13戦1勝
 リーガルラグズ Regal Rags(16 牝父Union Rags)北米2戦0勝
 (17 報告なし)

レモンポップUSA 本馬(18 牝父Lemon Drop Kid)中央13戦10勝(チャンピオンズC^{G1}2回、フェブラリーS^{G1}、根岸S^{G3}、ベルセウスS^O、樺S^O、カトレアS^O、鎌倉S、武蔵野S^{G2}2着)、地方3戦3勝(マイルチャンピオンシップ南部杯^{Jb}I2回、さきたま杯^{Jb}I)、首、沙2戦0勝、最優秀ダートホース2回 獲得総賞金760,200,000円

(19 牝父Practical Joke)

エクイヴォーク Equivoque(20 牝父Good Magic)北米5戦1勝

マジックラッシュ Magic Rush(21 牝父Good Magic)北米3戦0勝
 (22 牝父Maclean's Music)

祖母ハーピア Harpia

アメリカ産 北米、仏5勝(シャーリージョーンズH・米^{G3}、トップフライトH・米^{G2}2着、ファーストフライトH・米^{G2}2着、ジェニュインリスクH・米^{G2}2着、モリービッチャーS・米^{G2}2着)

アザルデュズ Hasardeuse(01 牝父Distant View)不出走、グリーンヒル Greenhill(ホジャージェド賞・伯^{G3}3着)の祖母

ファーストワード First Word(02 馴父Chester House)北米5勝(ノート

ライエティS2着)

アンリーチャブル Unreachable(09 前出)

曾祖母ラジアナ Razyana

アメリカ産 英0勝、デインヒルUSA(ラドブロックスプリントC・英^{G1}、英愛、豪、仏リーディングサイヤー、輸入種牡馬)の母

絶対王者の威厳を示し有終の美を飾る

連覇まであと一歩と迫ったレモンポップに、JBCクラシックの覇者ウィルソントネーロが襲い掛かる。息詰まる追い比べを演じた1、2番人気の両雄には、後方から追い込んだドウラエレーデも続き、終わってみれば前年と同じ3頭が1、3着を占めたチャンピオンズC。ハナ差で決着した勝負の軍配はレモンポップにあがり、国内ダーートの頂上戦では完璧な強さを誇ってきた絶対王者が、競走生活の最終章に輝かしいエンドマークを刻んだ。

コンビは、外からミトノオーが並びかけてきても先手を譲らず、2年連続で風を切る。一角崩しの期待をかけられ、3番人気の支持を集めたフェブラリーSの覇者ペプチドナイルは、2番手に控えたミトノオーの背後を追求。ウィルソントネーロは凝縮した馬群の真つ只中、ドウラエレーデの外につけて末脚を温存した。

大外枠から敢然と逃げた1年前に對し、引き当てた枠順は「絶対」といえる1枠2番。スタートを決め、出足もついたレモンポップと坂井瑠星騎手の

単騎の逃げに持ち込んだ坂井騎手は直線入口からスパート、坂の上りで後続を突き放す。ペプチドナイルをはじめとする後続はなかなか差を詰められず、残り200m地点では「押し切り濃厚」と映ったが、外へ持ち出されてエンジンに火がついたウィルソントネーロが目を見張る勢いで急襲し、ゴール前は2頭の争いに。脚勢は見劣りながらも、最後までしっかりと伸びたレモンポップが相手の追撃を際どく抑え、2010、11年のトランセンド以来、レース史上2頭目の連覇を達成した。